

## 山梨県内の2名の行政相談委員が総務大臣表彰を受賞

総務大臣は、毎年 全国約 5,000 人の行政相談委員の中から、永年、委員の職にあり、その業績が特に顕著で他の模範とするに足りると認められる方に対して 表彰を行っています

山梨県内の行政相談委員では、<sup>なとり</sup> <sup>あきら</sup> 名取 明 さん（甲府市）及び、<sup>よだ</sup> <sup>ひろずみ</sup> 依田 洋澄 さん（市川三郷町）が、行政相談委員としての永年の功績を認められ、総務大臣表彰を受賞されることになりました。

氏名	<sup>なとり</sup> <sup>あきら</sup> 名取 明	<sup>よだ</sup> <sup>ひろずみ</sup> 依田 洋澄
担当市町村	甲府市	市川三郷町
委員歴	15 年 6 か月 (平成 17 年 4 月委嘱)	11 年 5 か月 (平成 21 年 5 月委嘱)

### 行政相談委員とは

行政相談委員法に基づき、総務大臣から委嘱された民間有識者で、国民の身近なところで気軽に相談ができる窓口として、全国に約 5,000 人（山梨県は 71 人）配置されており、国の行政に関する苦情などの相談を毎年約 8 万件受け付けています。

具体的には、①道路、②医療保険・年金、③社会福祉、④租税など様々な行政分野に関する苦情・相談を受け付け、相談者に助言を行ったり、苦情の対象となった関係行政機関に対して、具体的な改善を働きかけるなど、国民本位の行政を実現する上で、重要な役割を担っています。

## ○ 受賞委員の活動

### 行政相談所の開設、広報活動

#### イベントで相談所開催

地域のお祭り会場で行政相談所を開設しています。

住民に身近な  
場所で開設し  
ています。



#### パネル展

公共施設で行政相談制度を紹介するパネルを展示したり、相談を受け付けています。

皆さんに知って  
もらえるように  
工夫しています



### 行政相談委員による改善例

#### 相談要旨

トンネル内が昼でも暗く、高齢の運転手や自転車で行く子どもが危険を感じているので、トンネル内を明るくしてほしい。

所々電灯が消えていて暗いよ！



#### 改善結果

委員が道路管理者に要望を連絡したところ、トンネル内の電灯の交換と照度調整が行われ、トンネル内が明るくなりました。

明るくなって安心ね。



照会先：総務省 山梨行政監視行政相談センター  
行政監視行政相談課長 久世 祐司

TEL：055-252-1496

FAX：055-251-9223

E-MAIL：yaman30@soumu.go.jp

URL：<http://www.soumu.go.jp/kanku/kanto/yamanashi.html>

